

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	大東市		地区名	野崎南・寺川地区(のぞきみなみ・てらかわ)			面積	55ha	
交付期間	平成22年度～26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	756百万円	国費率	0.274			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路【四条南小学校通学路、市道四条南小学校北側線、府道枚方富田林泉佐野線((旧)国道170号へ事業名称変更)、市道四条小学校南側線(提案事業へ変更)、市道野崎竜間線(高質空間形成施設へ変更)】、地域生活基盤施設【市民ふれあい広場、情報板サイン事業】、高質空間形成施設【デザイン照明施設】、既存建造物活用事業【地域交流センター】								
			提案事業	地域創造支援事業【図書館・歴史民俗資料館整備事業】、事業活用調査【事業効果分析調査事業】								
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から削除した事業	基幹事業	—			—			—			
	新たに追加した事業	基幹事業	—			—			—			
	交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			—				
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	図書館利用者の登録利用者割合	%	18.2	H20	35.0	H26	—	20.1	△	あり なし ●	平成28年度
	指標2	道路対策の満足度	相加平均	2.43	H21	3.50	H26	—	3.10	△	あり なし ●	平成28年度
指標3	歴史文化遺産の認知度	相加平均	3.11	H21	4.00	H26	—	3.31	△	あり なし ●	平成28年度	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	東部地域住民図書館登録率 [指標1補完]	%	19.0	H21	/	36.5	/	/	指標1は目標達成に至らなかったが、東部地域住民の図書館利用登録者数割合は、大きく増加し図書館整備の効果が発現した。	平成28年度	
その他の数値指標2	歴史文化遺産を活かした市の取り組み満足度 [指標3補完]	相加平均	2.56	H21	/	3.41	/	/	指標3は目標達成には至らなかったが、民俗資料館の整備や情報板設置等、歴史文化遺産を活かした市の取り組みについての評価は大きく向上した。	平成28年度		
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査の結果、今回整備した道路の『安全性や通行し易さの向上についての評価(5段階相加平均:3.82)』は非常に高い。</li> <li>アンケート調査では、『来ぶらり四条』の整備については、好評である。また、年間延べ利用者数は平成25年度実績で202,924人となっており、多くの利用があった。</li> </ul>											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	『来ぶらり四条』の各年度末の利用者数及び利用状況を確認			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●			
	住民参加プロセス	『来ぶらり四条』において、ボランティア組織による市民の企画展示等の実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●			
	持続的なまちづくり体制の構築	『来ぶらり四条』において、ボランティア組織による市民の企画展示等の実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●			



## 様式2-2 地区の概要

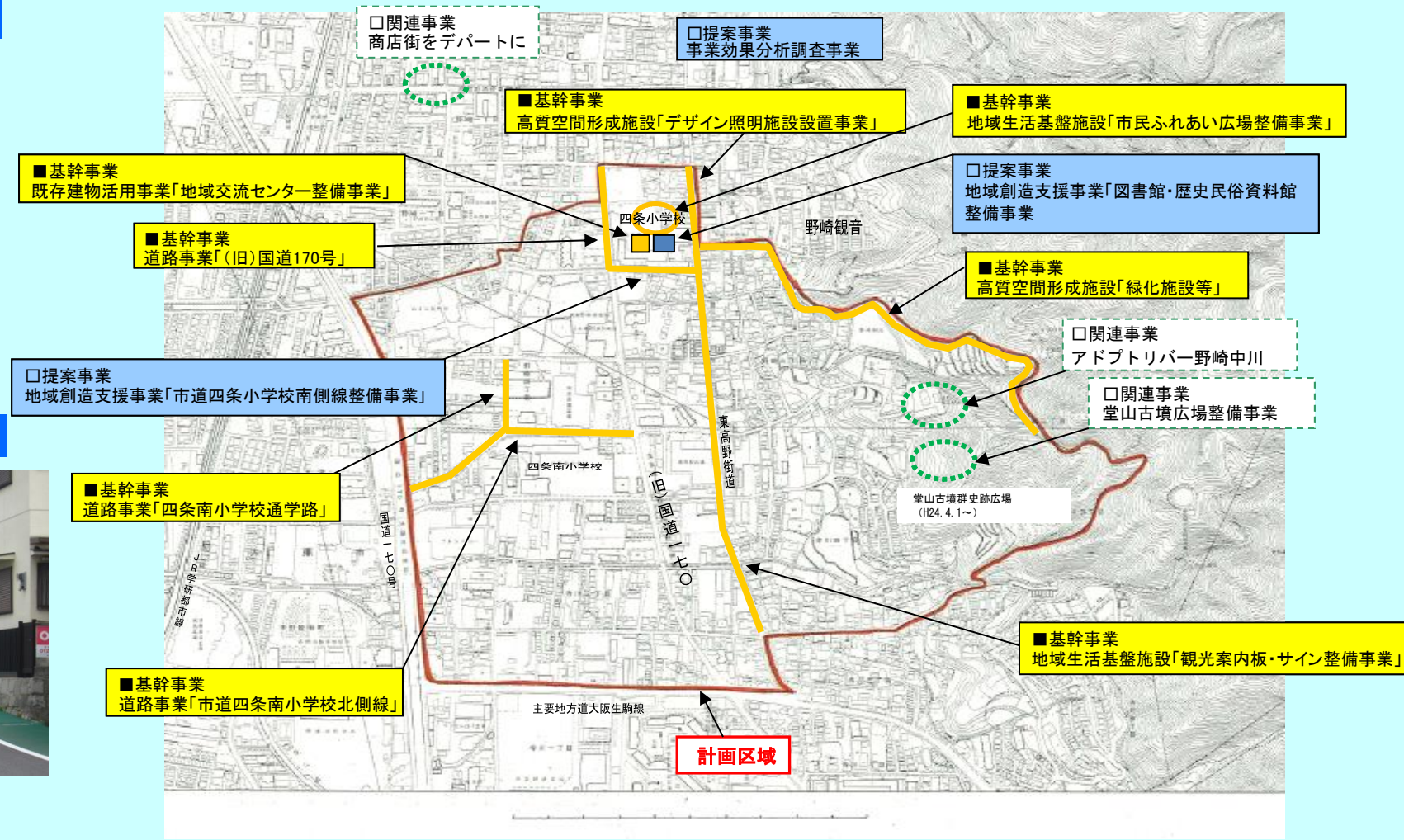
### 野崎南・寺川地区(大阪府大東市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
<b>大目標: 地域資源を活用した交流の活性化と安全な生活環境の創出</b> 目標①: 既存資源を活用して地域交流センター、市民ふれあい広場、図書館等を整備し、住民交流の活性化を図る。 目標②: 生活道路、水路の整備改善により、安全・快適に暮らせる生活環境を創出する。 目標③: 歴史的町並みを生かし、点在する歴史的資源のネットワーク化・魅力付けを図り、交流人口を増大させる。	図書館利用者の登録利用者数割合	単位: %	18.2	H20年度	35.0	H26年度	20.1	H26年度
	道路対策の満足度	単位: 相加平均	2.43	H21年度	3.50	H26年度	3.10	H26年度
	歴史文化遺産の認知度	単位: 相加平均	3.11	H21年度	4.00	H26年度	3.31	H26年度
	東部地域住民図書館登録率	単位: %	19.0	H21年度			36.5	H26年度
	歴史文化遺産を活用した市の取り組み満足度	単位: 相加平均	2.56	H21年度			3.41	H26年度

#### (旧) 170号



#### 四条小学校南側線



#### 地域交流センター『来ぶらり四条』



#### 四条南小学校北側線



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題の改善状況               <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校跡地を活用した複合施設『来ぶらり四条』の整備により、市民交流を活性化させる場を提供することができた。</li> <li>・道路整備等により、道路の安全性や通行しやすさが改善し、安全・快適に暮らせる生活環境の創出が図られた。</li> </ul> </li> <li>●未解決の課題:               <ul style="list-style-type: none"> <li>・点在する歴史的資源のネットワーク化・魅力付けのため、案内板の設置やアクセス道路整備等を実施したものの、歴史文化資源の認知度向上は一部にとどまった。</li> </ul> </li> <li>●新たな課題               <ul style="list-style-type: none"> <li>・本整備計画事業における整備箇所以外で狭隘道路が一部残ったままである。</li> <li>・『来ぶらり四条』を利用していない地域住民もまだ多く、利用を広げていく必要がある。</li> </ul> </li> </ul>
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的資産や観光資源の認知度向上のため、魅力的なイベントの実施、近隣の野崎参道商店街などと連携した観光マップの制作・配布や、駅周辺など地区外も含めた誘導看板等の設置を検討する。</li> <li>・『来ぶらり四条』の周知向上のため、図書館、歴史民俗資料館、市民ふれあい広場など各施設で実施しているイベント、講座、展示等の活動や市民学芸員と市民協働で行う活動の広報活動をより積極的かつ効果的に行うなど利用者増加を図る。</li> <li>・観光ツアーなど外国人観光客を含めた集団来訪者を受け入れるための観光バスの駐車場スペースの確保や駅周辺の案内表示等の検討を行う。</li> <li>・狭隘道路等について、安全性向上を図るための検討する。</li> </ul>